


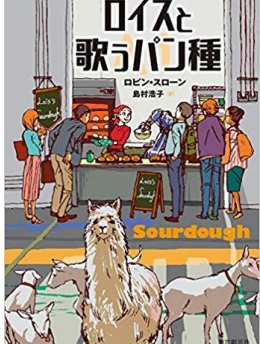

別表2

(2019-4回)

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>あたまをつかった小さなおばあさん がんばる</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 ホープ・ニューウエル 訳 松岡享子 絵 降矢なな</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>福音館書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年11月</td></tr> </table>	1		書名	あたまをつかった小さなおばあさん がんばる	著者等	著 ホープ・ニューウエル 訳 松岡享子 絵 降矢なな	出版社	福音館書店	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2019年11月	<p>小さな黄色い家に住む小さなおばあさんは、頭を使うことにかけてはたいした人物。何か困ったことがある時は、ぬれタオルで頭をしばり、人差し指を鼻の横にあてて目をつぶれば、たちまち解決する。そんなおばあさんが知恵を働かせて、迷い込んだゾウの赤ちゃんを幸せにしてあげたり、暑さにぐったりしたガチョウとネズミを涼しくしてやったりする愉快的話が10編入っている。おばあさん流の解決法がおもしろい。活字も読みやすく、新たな画家による色付きの楽しい挿絵がたっぷり入っている。シリーズ3巻目も同時刊行。</p> <p>(分類番号 933)</p>
1																
書名	あたまをつかった小さなおばあさん がんばる															
著者等	著 ホープ・ニューウエル 訳 松岡享子 絵 降矢なな															
出版社	福音館書店															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2019年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>さわるめいろ3</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 村山純子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>小学館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,900</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～小学校高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年9月</td></tr> </table>	2		書名	さわるめいろ3	著者等	著 村山純子	出版社	小学館	定価	1,900	対象	小学校低学年～小学校高学年	発行	2019年9月	<p>点をさわってたどる、楽しいめいろあそび「さわるめいろ」3巻目。○△□等の幾何学のように沿って突起した点線を指でたどり、ゴールを目指す。1, 2巻目よりも複雑な11種類のコースで、難易度も上がった。各ページのめいろは、色鮮やかで洗練されたデザインが美しい。目の見える子も見えない子も弱視の子もさまざまな楽しみ方ができる工夫が施されており嬉しい。また、あそび方についても裏表紙に点字とひらがなで、丁寧に書かれている。指先の感覚も研ぎ澄まされるような展示つきさわる絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
2																
書名	さわるめいろ3															
著者等	著 村山純子															
出版社	小学館															
定価	1,900															
対象	小学校低学年～小学校高学年															
発行	2019年9月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ふゆとみずのまほう こおり</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 片平孝 写真 片平孝</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>ポプラ社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年11月</td></tr> </table>	3		書名	ふゆとみずのまほう こおり	著者等	著 片平孝 写真 片平孝	出版社	ポプラ社	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2019年11月	<p>息が白く見える寒い冬の朝一つゆがはっぱの上でちいさなこおりになっていた一気温が0度より下がると氷ができる。氷は水が冷えてかたまりできたもの。こおった滝は大きなつらら。湖の氷に閉じ込められた泡は、七色のおはじき。枝にさがる氷は、恐竜の歯？それともつぶつぶのぶどう？はすのはっぱみたいなこおりもある。大きなものから小さなものまで、うまれる場所や寒さによって氷はかたちをかえる。長年、雪と氷を撮影してきた著者による写真絵本。最後のページには、各ページについての解説がついている。</p> <p>(分類番号 451)</p>
3																
書名	ふゆとみずのまほう こおり															
著者等	著 片平孝 写真 片平孝															
出版社	ポプラ社															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2019年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>あいぼうはどこへ?</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 ジョシュ・ファンク 訳 金柿秀幸 絵 スティーヴィー・ルイス</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>イマジネーション・プラス</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年9月</td></tr> </table>	4		書名	あいぼうはどこへ?	著者等	著 ジョシュ・ファンク 訳 金柿秀幸 絵 スティーヴィー・ルイス	出版社	イマジネーション・プラス	定価	1,600	対象	幼児～小学校中学年	発行	2019年9月	<p>ある朝のこと。図書館の入口を守るしっかり者のライオン、フォーティテュードは、相棒の好奇心たっぷりなペイシェンスがいないことに気づく。夜が明ける前までに自分のもち場に戻らないと大変なことになるのだ。じっとしてられなくなったフォーティテュードは、ペイシェンスを探しに大きな図書館の中へ入っていく。うす暗い館内をあちこち探しまわっていると…。世界で最も有名な美しい図書館のひとつニューヨーク公共図書館の入口には2頭のライオンの石像がある。この実在のライオン像が主人公。大都会の図書館を探検するわくわく感が伝わってくる魅力ある一冊。</p> <p>(分類番号 726)</p>
4																
書名	あいぼうはどこへ?															
著者等	著 ジョシュ・ファンク 訳 金柿秀幸 絵 スティーヴィー・ルイス															
出版社	イマジネーション・プラス															
定価	1,600															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2019年9月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>なかよしの水 タンザニアのおはなし</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 ジョン・キラカ 訳 さくまゆみこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>西村書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年9月</td></tr> </table>	5		書名	なかよしの水 タンザニアのおはなし	著者等	著 ジョン・キラカ 訳 さくまゆみこ	出版社	西村書店	定価	1,500	対象	幼児～小学校低学年	発行	2019年9月	<p>むかしむかし、日照りが続いて水がなくなり、森のどうぶつたちは、のどがからからに乾いてしまった。そこで、水をさがしに出かけることにした。長いこと歩いてやっと川を見つけるが、川の中からワニがあらわれて、水をやる代わりに誰か食わせろという。ゾウたち大きな動物たちは小さなノウサギをいけにえにしようと決めてしまう。でも、かしこいノウサギは…。タンザニアの作家が、昔話を再構成した絵本。現地のポップアートの手法を取り入れて描かれた民族色豊かな絵は、色鮮やかで独特な魅力がある一冊。</p> <p>(分類番号 726)</p>
5																
書名	なかよしの水 タンザニアのおはなし															
著者等	著 ジョン・キラカ 訳 さくまゆみこ															
出版社	西村書店															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2019年9月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>となりのアブダラくん</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 黒川裕子 絵 宮尾和孝</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>講談社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年11月</td></tr> </table>	6		書名	となりのアブダラくん	著者等	著 黒川裕子 絵 宮尾和孝	出版社	講談社	定価	1,400	対象	小学校高学年	発行	2019年11月	<p>ぼくは編み物が好きだが秘密にしている。ぼくのとなりにアブダラくんというパキスタンからの転校生がやってきて、担任にお世話係を頼まれる。イスラム教徒で食べられないものがある、毎日お祈りの時間を持つなどの習慣の違い、親の偏見で孤立していく。支援教室の田屋先生は、人は分からないと怖いと感じるのだと教えてくれる。アブダラくんのことを知ろうとし、それをみんなに伝える。肌や髪の色、宗教や生活習慣の違い、男だから女だからというような偏見など、少し人と違うことで生まれる差別に立ち向かう少年の物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
6																
書名	となりのアブダラくん															
著者等	著 黒川裕子 絵 宮尾和孝															
出版社	講談社															
定価	1,400															
対象	小学校高学年															
発行	2019年11月															

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">7</td></tr> <tr><td>書名</td><td>グレタのねがい</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 ヴァレンティナ・キャメリニ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>西村書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>980</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2020年1月</td></tr> </table>	7		書名	グレタのねがい	著者等	著 ヴァレンティナ・キャメリニ	出版社	西村書店	定価	980	対象	小学校高学年～	発行	2020年1月	<p>スウェーデンのストックホルムに暮らす15歳の少女グレタ・トゥーンベリは、人間の暮らし方が地球環境を破壊していることに危機感を持った。大人が何も行動しないことに対して、2018年夏から金曜日に学校を休み、「気候のための学校ストライキ」というプラカードをかかげて、国会議事堂の前にすわる。この活動は世界の人々から関心を寄せられた。国連の場などで多くの国の代表者や政治家などの前で「気候変動から地球を守るために今すぐ行動を」と訴えた。できることから行動する17歳の環境活動家グレタを描くノンフィクション。</p> <p>(分類番号 289)</p>
7																
書名	グレタのねがい															
著者等	著 ヴァレンティナ・キャメリニ															
出版社	西村書店															
定価	980															
対象	小学校高学年～															
発行	2020年1月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">8</td></tr> <tr><td>書名</td><td>キセキのスパゲッティー</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 山本省三 絵 十々夜</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>フレーベル館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年11月</td></tr> </table>	8		書名	キセキのスパゲッティー	著者等	著 山本省三 絵 十々夜	出版社	フレーベル館	定価	1,300	対象	小学校中学年	発行	2019年11月	<p>夏フェスで出す料理を考えていた四年一組の渉、真奈、ジーナとユジュン。渉はおばあちゃんがジャムを失敗したいちごソースとチーズの「うっかりスパゲッティー」。真奈は兄弟と雷がなる中、留守番をしているときに料理好きの兄と作ったグラタン風「カミナリスパゲッティー」。両親が韓国人のユジュンと、母親が日本人で父親がイタリア人のジーナは韓国のりとタリアテッレをバターであえた「カンタリアン」を作る。いっしょに作って食べて心が近づき、気持ちが通じるスパゲッティー作りを通し、国や生活や性格の違いを超える友情物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
8																
書名	キセキのスパゲッティー															
著者等	著 山本省三 絵 十々夜															
出版社	フレーベル館															
定価	1,300															
対象	小学校中学年															
発行	2019年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">9</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ハヤクさん一家とかしこいねこ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 マイケル・ローゼン 訳 ないとうふみこ 絵 トニー・ロス</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>徳間書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年8月</td></tr> </table>	9		書名	ハヤクさん一家とかしこいねこ	著者等	著 マイケル・ローゼン 訳 ないとうふみこ 絵 トニー・ロス	出版社	徳間書店	定価	1,300	対象	小学校中学年	発行	2019年8月	<p>ハヤクさんの家のおとうさんとおかあさんはいつも早く早くと慌てていて、この日も息子のハリーを学校へつれていくのを忘れていました。ハリーに気づいたねこのトラーはおとうさんを追いかけて家に戻せます。ようやく学校へ行ったハリー。けれど、トラーの食べ物の用意を忘れていました。夜、おかあさんが買い物をして食べるものがなく、食べ物をネットで注文します。トラーも缶詰のキャットフードを注文して…。ハリーは両親に「もう少しゆっくり準備したり考えたりすればいい」と伝えます。あわてんぼう一家のゆかいな物語。</p> <p>(分類番号 933)</p>
9																
書名	ハヤクさん一家とかしこいねこ															
著者等	著 マイケル・ローゼン 訳 ないとうふみこ 絵 トニー・ロス															
出版社	徳間書店															
定価	1,300															
対象	小学校中学年															
発行	2019年8月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>書名</td><td>さくらはおよぐ?</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 丸田かね子 絵 牧野鈴子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>銀の鈴社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2020年1月</td></tr> </table>	10		書名	さくらはおよぐ?	著者等	著 丸田かね子 絵 牧野鈴子	出版社	銀の鈴社	定価	1,600	対象	小学校低学年	発行	2020年1月	<p>ひろきは2年2組の教室にリュウキンという金魚を一匹持っていき、「さくら」と名付けて飼うことになった。数日後、クラスメートが持ってきたワキン二匹水槽に入れると、さくらの尾びれがとれてしまった。水槽を別にするが、さくらは斜めになって浮いていた。なくした尾びれはまた生えてくるのか？ペットショップのおじさんは、「尾びれは生えてこないが、そのままでも新しい泳ぎ方を覚えて泳ぎだすよ」と疑問に答えてくれる。さくらはやがて、斜めになりながらも泳ぎだした。傷ついた金魚の再生から勇気をもろう少年をえがく絵童話。</p> <p>(分類番号 913)</p>
10																
書名	さくらはおよぐ?															
著者等	著 丸田かね子 絵 牧野鈴子															
出版社	銀の鈴社															
定価	1,600															
対象	小学校低学年															
発行	2020年1月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">11</td></tr> <tr><td>書名</td><td>放課後の文章教室</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 小手鞠るい</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>偕成社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年8月</td></tr> </table>	11		書名	放課後の文章教室	著者等	著 小手鞠るい	出版社	偕成社	定価	1,200	対象	中学生～	発行	2019年8月	<p>ツイッターから読書感想文まで、作文が苦手な中学生から作家志望の大学生まで、様々な若者がよせる「書くこと」に関する相談に、作家が答える。例えば「ワンランク上の文章が書けるようになりたい」作文好きの中学生には、「文章は一本の木であり、しっかりと根を張っていなければすぐ倒れてしまう。根を張っていない言葉は相手に伝わらない」と諭し、「さらにテーマについて徹底的に考え、理解している言葉だけを使って容赦なく書くべき」と語る。一つ一つの短い質問に、逆に問いを投げかけながら、やさしい言葉で丁寧に答える中に作家が日々対峙している「書く」といふ行為への厳しい姿勢を垣間見る。書くことともう一度向き合うための一冊。</p> <p>(分類番号 816)</p>
11																
書名	放課後の文章教室															
著者等	著 小手鞠るい															
出版社	偕成社															
定価	1,200															
対象	中学生～															
発行	2019年8月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">12</td></tr> <tr><td>書名</td><td>はじめての万葉集 (上) (下)</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 萩原昌好 絵 中島梨絵</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>あすなる書房</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年7月</td></tr> </table>	12		書名	はじめての万葉集 (上) (下)	著者等	著 萩原昌好 絵 中島梨絵	出版社	あすなる書房	定価	1,600	対象	中学生～	発行	2019年7月	<p>新元号「令和」の語源として、万葉集が注目されているが、本書は万葉集を時代別にくくり、背景となった出来事や、人物のドラマ、当時の風習や人々の暮らしなどの解説と共に歌を紹介していく。上巻では、大化の改新や壬申の乱、下巻では藤原京から平城京への遷都など、歴史で習ったことがらと、渦中で時代に翻弄された人物と、その歌とが結び付く。国語の授業では扱いきれない内容がやさしく深く語られている。奈良時代の言葉はとくに難解で、中学生にはハードルが高いが、時代背景や人物を知って読むと、歌の向こうに血の通った人間の喜怒哀楽が生き生きと立ち上がってくるのを感じ、尽きせぬ興味を抱かせる優れた入門書である。</p> <p>(分類番号 911)</p>
12																
書名	はじめての万葉集 (上) (下)															
著者等	著 萩原昌好 絵 中島梨絵															
出版社	あすなる書房															
定価	1,600															
対象	中学生～															
発行	2019年7月															

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">13</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>明日をさがす旅 故郷を追われた子どもたち</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 アラン・グラッツ 訳 さくまゆみこ</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>福音館書店</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年11月</td> </tr> </table>	13		書名	明日をさがす旅 故郷を追われた子どもたち	著者等	著 アラン・グラッツ 訳 さくまゆみこ	出版社	福音館書店	定価	2,200	対象	中学生～	発行	2019年11月	<p>1939年ドイツ、ナチスから逃れてキューバに向かうユダヤ人の少年ヨーゼフとその家族、1994年キューバ、カストロ政権下の貧困と抑圧から逃れアメリカへ向かう少女イサベルとその家族、2015年シリア、アレッポを脱出し、ヨーロッパを目指す少年マムードとその家族、三人の子ども達の物語が交代に進んでいく。住み慣れた故郷を離れ、命危険と隣り合わせの壮絶な逃避行の中、幼く弱い普通の子も達が、大人の強さも弱さも、社会の善意も悪意も見ながら、精一杯に家族を支えて前に進む。ただ家族と一緒に生きられる明日を求めて。世界の難民の数は7000万人を超えている。事実に基づきその生活をリアルに描いて、世界に警鐘を鳴らす優れた小説。あらゆる世代が読むべき一冊である。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
13																
書名	明日をさがす旅 故郷を追われた子どもたち															
著者等	著 アラン・グラッツ 訳 さくまゆみこ															
出版社	福音館書店															
定価	2,200															
対象	中学生～															
発行	2019年11月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">14</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>希望の図書館</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 リサ・クライン・ランサム 訳 松浦直美</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ポプラ社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年11月</td> </tr> </table>	14		書名	希望の図書館	著者等	著 リサ・クライン・ランサム 訳 松浦直美	出版社	ポプラ社	定価	1,500	対象	小学校高学年～	発行	2019年11月	<p>母親を亡くし、父と一緒にアラバマからシカゴの黒人街に移り住んだラングストンは、都会になじめず、母や故郷が恋しくてたまらない。学校では「南部のいなかもん」とからかわれ、家では新しい生活に精一杯の父に気持ちをうちあげることができず、ひとり孤独を抱えていた。そんなある日、迷い込んだ図書館で一冊の本と出会う。それは彼と同じ名前を持つ黒人の詩集だった。「まるで自分の心の中の言葉を読んでいるみたいだ」と感じ本の世界にのめりこんでいくラングストン。そして、本を支えに少しずつ自身を取り戻し、父親や周りの人たちを理解し始める。ラングストンの繊細な心や成長の様子が丁寧に描かれ、瑞々しい感動が心にひろがる。本との出会いのすばらしさを感じられる一冊。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
14																
書名	希望の図書館															
著者等	著 リサ・クライン・ランサム 訳 松浦直美															
出版社	ポプラ社															
定価	1,500															
対象	小学校高学年～															
発行	2019年11月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">15</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>12歳で死んだあの子は</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 西田俊也</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>徳間書店</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年7月</td> </tr> </table>	15		書名	12歳で死んだあの子は	著者等	著 西田俊也	出版社	徳間書店	定価	1,600	対象	中学生～	発行	2019年7月	<p>中学2年の秋に、小学校の同窓会があった。久しぶりに仲間が集まり楽しく昔話をするがだれも「あの子」のことは口にできなかった。「あの子」鈴元育朗は六年生の三学期に病気で亡くなったのだった。洋詩はそのことに違和感を抱く。鈴元は、本当はどんな子だったのか、どんな話をしていたのか、最後に登校したあの日どんな気持ちだったのか…。同級生三人で、お墓参りを計画し、同窓生を誘って歩く中で、鈴元の最後の日々を知り、同級生たちの中の鈴元像、そして喪失感に気づいていく。作者の経験を下敷きに、子どもたちが受け入れがたい「友達の死」と向き合い直す過程を丁寧に描いた意欲作。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
15																
書名	12歳で死んだあの子は															
著者等	著 西田俊也															
出版社	徳間書店															
定価	1,600															
対象	中学生～															
発行	2019年7月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">16</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>アーモンド</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 ソン・ウォンピョン 訳 矢島暁子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>祥伝社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年7月</td> </tr> </table>	16		書名	アーモンド	著者等	著 ソン・ウォンピョン 訳 矢島暁子	出版社	祥伝社	定価	1,600	対象	高校生以上	発行	2019年7月	<p>ソン・ユンジェは生まれつき頭の中の扁桃核(アーモンド)が小さく、大脳辺縁系と前頭葉の間の連絡がうまくいかない失感情症だ。感情がわからず、笑ったり怒ったり人の感情を読んだりすることができない。シングルマザーの母と祖母は愛情をもってユンジェを「普通」に見えるよう育ててきた。しかしユンジェの誕生日に通り魔に襲われ、祖母は亡くなり、母は植物状態になってしまう。なんの感情もないままユンジェはひとり残される。その後、感情のコントロールがきかないゴニやクラスメイトのドラ、シム博士らと知り合い、人との関わりのなかで少しずつ成長していく。愛と共感の物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 929)</p>
16																
書名	アーモンド															
著者等	著 ソン・ウォンピョン 訳 矢島暁子															
出版社	祥伝社															
定価	1,600															
対象	高校生以上															
発行	2019年7月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">17</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>キャパとゲルダ ふたりの戦場カメラマン</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 マーク・アロンソン/マリナ・ブドーズ 訳 原田勝</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>あすなる書房</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年9月</td> </tr> </table>	17		書名	キャパとゲルダ ふたりの戦場カメラマン	著者等	著 マーク・アロンソン/マリナ・ブドーズ 訳 原田勝	出版社	あすなる書房	定価	1,800	対象	高校生以上	発行	2019年9月	<p>1930年代、ナチスによるユダヤ人迫害の迫る中、パリでカメラマンとして生計を立てる青年アンドレ・フリードマンとゲルダ・ポホリレは出会う。通信社で働き始めたゲルダは苗字をタローに変え、アンドレをロバート・キャパという名の写真家として売り込んだ。キャパはゲルダに写真の撮り方を教える。そして戦争を撮るため、内戦の始まったスペインへ二人の写真家として向かった。二人は同志であり、恋人であり、ライバルだった。対等の立場で力を合わせて仕事をした、芸術家でもある若い男女二人の写真家の誕生から死までを描くドキュメンタリー。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 740)</p>
17																
書名	キャパとゲルダ ふたりの戦場カメラマン															
著者等	著 マーク・アロンソン/マリナ・ブドーズ 訳 原田勝															
出版社	あすなる書房															
定価	1,800															
対象	高校生以上															
発行	2019年9月															

	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書名</td> <td>女たちのシベリア抑留</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 小柳ちひろ</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>文藝春秋</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年12月</td> </tr> </tbody> </table>	18		書名	女たちのシベリア抑留	著者等	著 小柳ちひろ	出版社	文藝春秋	定価	1,700	対象	高校生以上	発行	2019年12月	<p>終戦後、ソ連軍にシベリア抑留され、過酷な捕虜生活を送った人々の中に女性たちがいた。しかし、どのような経緯で抑留され何を体験したかについては伝えられていない。彼女たちは戦後2年ほど収容所を転々とさせられ、看護活動や重労働を含む雑用をさせられていた。そして生きて帰りたい思いを持ち続け、いつ殺されるかも知れない恐怖や極寒と飢餓に苦しみながら、いざと言う時の為に青酸カリを身に付けていた。満州で従軍看護婦だった女性たちの証言をメインに、スパイ容疑で囚人となった女性の話を含め、2014年にBSで放送された番組を元に書き下ろした。</p> <p>(分類番号 210)</p>
18																
書名	女たちのシベリア抑留															
著者等	著 小柳ちひろ															
出版社	文藝春秋															
定価	1,700															
対象	高校生以上															
発行	2019年12月															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書名</td> <td>ロイスと歌うパン種</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 ロビン・スローン 訳 島村 浩子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>東京創元社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年4月</td> </tr> </tbody> </table>	19		書名	ロイスと歌うパン種	著者等	著 ロビン・スローン 訳 島村 浩子	出版社	東京創元社	定価	1,800	対象	高校生以上	発行	2019年4月	<p>ミシガン州からサンフランシスコへやってきたロイスはIT企業に就職し、ロボットアームのプログラミングの仕事をしている。激務に消耗しきった彼女を救ったのは、近所の宅配マズク料理屋のパンとスープだった。しかし、親しくなった店主がアメリカを去ることになり、弟とともにロイスの家を訪れる。そして「俺たちのカルチャー」である秘伝のパン種を贈られる。ロイスがそれを使ってパンを焼き、食べてもらったことからファーマーズ・マーケットへの出店を勧められ、そのチャレンジから思わぬ人や場所との出会いが訪れる。夜中に歌うパン種とロボットアームが織り成す自分探しの物語。</p> <p>(分類番号 933)</p>
19																
書名	ロイスと歌うパン種															
著者等	著 ロビン・スローン 訳 島村 浩子															
出版社	東京創元社															
定価	1,800															
対象	高校生以上															
発行	2019年4月															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書名</td> <td>シャガクに訊け!</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 大石大</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>光文社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年10月</td> </tr> </tbody> </table>	20		書名	シャガクに訊け!	著者等	著 大石大	出版社	光文社	定価	1,600	対象	高校生以上	発行	2019年10月	<p>社会学部1年生の松岡えみるは、留年を逃れるため人気のない上庭ゼミに入ることになった。ゼミ活動は木曜の学生相談室の補佐で、それは大学生活における人生相談のようなものだった。社会心理学講師の上庭先生は、講義はつまらなく学生からの人望もないシャガク（社会学）一のダメ教師との噂。しかし、ラベリング理論や認知的不協和の理論、自己成就的予言や傍観者理論など社会学の知識を駆使して、相談者に新たな視点を与え、学生の悩みを解決していく。えみるも自分の悩みを抱えつつ、学生の悩みに真摯に向き合っていく。青春ミステリー小説。</p> <p>(分類番号 913)</p>
20																
書名	シャガクに訊け!															
著者等	著 大石大															
出版社	光文社															
定価	1,600															
対象	高校生以上															
発行	2019年10月															